

■イツホシアカマダラクサカゲロウ

先日、イツホシアカマダラクサカゲロウらしい個体を見つけました。まだ、詳しく調べていなかったなと思って、捕獲しておきました。今日は検索表を使って調べてみました。その結果、イツホシアカマダラクサカ

ゲロウで間違いないようです。せっかく調べたのに時間がたつとすぐに忘れてしまうので、忘れないようにここに書いておきます。

まず、捕獲したのはこんなクサカゲロウです。前翅長は13.2mm。翅の横脈は大部分

黒くなっています。触角の間に黒い点があります。

■クサカゲロウの属の検索

この種を検索表を使って、属と種の検索を試みました。用いた文献は次のとおりです。

塚口茂彦著『Chrysopidae of Japan (Insecta, Neuroptera)』(1995).

この中に書かれている検索表を順番に見ていきます。まずは属への検索です。

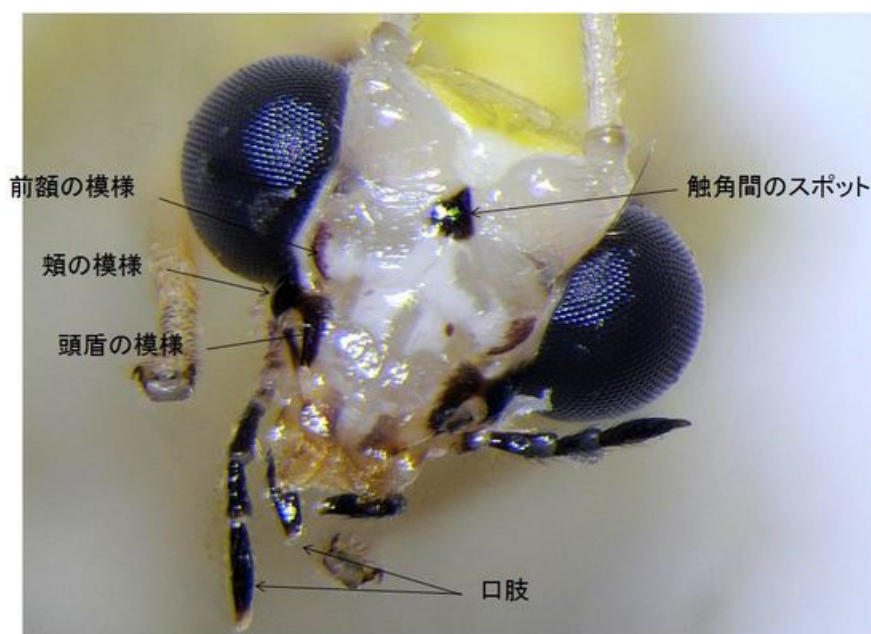
次頁の表はクサカゲロウ族全体の検索表です。今回の種に関係しているところは赤字で書いてあります。なお、原文は英語で、私のつたない語学力で訳しているのでそのつもりで見てください。

まず①については腹部に発音性の構造を持つかどうかですが、持たないので①♀を選び、③に進みます。③は頭部に紋があるかどうかなので、その部分の写真を載せます。



クサカゲロウ族の属への検索

- ①a 第2腹節の腹板側方に書類差しのような構造 (file-like structure) がある
 - ②a 頭部に黒褐色ないし黒色のスポットが頬、額片、触角間の場所にある
 - ニセコガタクサカゲロウ属(I)
 - キントキクサカゲロウ属
 - ②b 頭部にスポットはない
- ①b そのような構造はない
 - ③a 口肢を除いて頭部に紋はない
 - ④a 大型から特大の大きさ(翅長は 17-30mm)。触角柄節は相対的に長い(幅より長い)。前翅の Psm-Psc 間の横脈は 9 以上
 - オオクサカゲロウ属
 - ④b 小型から中型(翅長 12-17mm)。触角柄節は膨潤(長さは幅程度)。前翅の Psm-Psc 間の横脈は 6-8
 - ⑤a 触角は前翅より明確に長い。翅脈は全体に黄色ないし緑色で、黒色ないし茶色の翅脈はない
 - コガタクサカゲロウ属(I)、プレシオクサカゲロウ属
 - ⑤b 触角は前翅より短いか同長。翅脈は黄色ないし緑色と黒色ないし茶色の二色性
 - ⑥a 大顎は対称
 - クリトロピア属
 - ⑥b 大顎は非対称
 - ユメクサカゲロウ属
 - ③b 頭部に紋がある
 - ⑦a 額に 黒色ないし茶色の模様や紋があり触角直下の縫合線に接続する
 - クサカゲロウ属
 - ⑦b 額にそのような模様はないか、もしある場合には、触角直下の縫合線とは離れる
 - ⑧a 翅脈は緑色
 - ⑨a 触角は前翅より明確に長い
 - コガタクサカゲロウ属(II)
 - ⑨b 触角は前翅より明確に短い
 - ヒメクサカゲロウ属(I)
 - ⑧b 横脈は黄色ないし緑色と黒色ないし茶色の二色性
 - ⑩a 翅室 im の先端は Rs-M 横脈を超えない
 - ヒメクサカゲロウ属(II)
 - ⑩b 翅室 im の先端は Rs-M 横脈を超える
 - ニセコガタクサカゲロウ属(II)



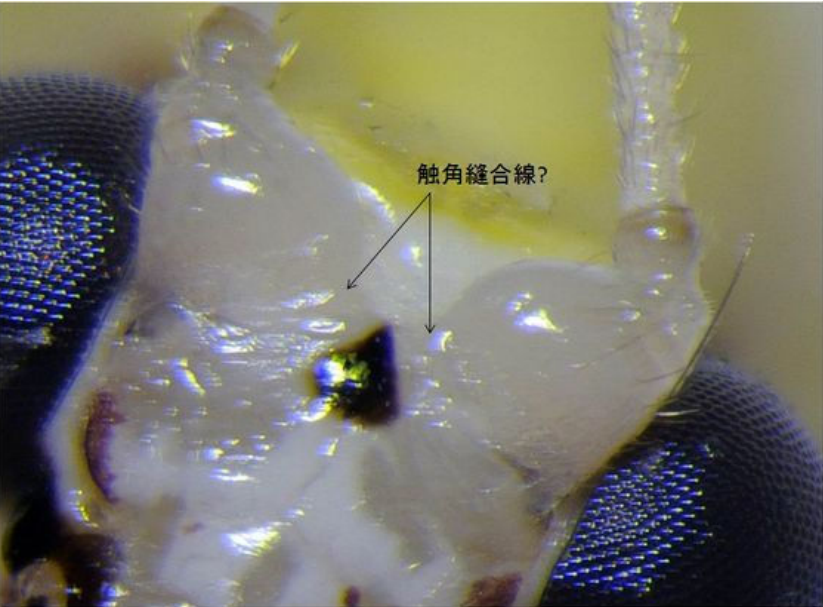
頭部にはいろいろな部分に紋があります。従って、③♂を選び、⑦に進みます。⑦は額の紋についてです。この個体は紋は明確にあるのですが、触角直下の縫合線に接続するかどうかを見なければいけません。その部分を拡大してみます。

縫合線があまりはつきりしないのですが、



紋とは十分に離れていそうです。従って、⑦♀を選びます。⑧は横脈の色ですが、一番上の写真のように黒色が入っています。従って、⑧♀を選びます。最後は翅脈に関するものです。

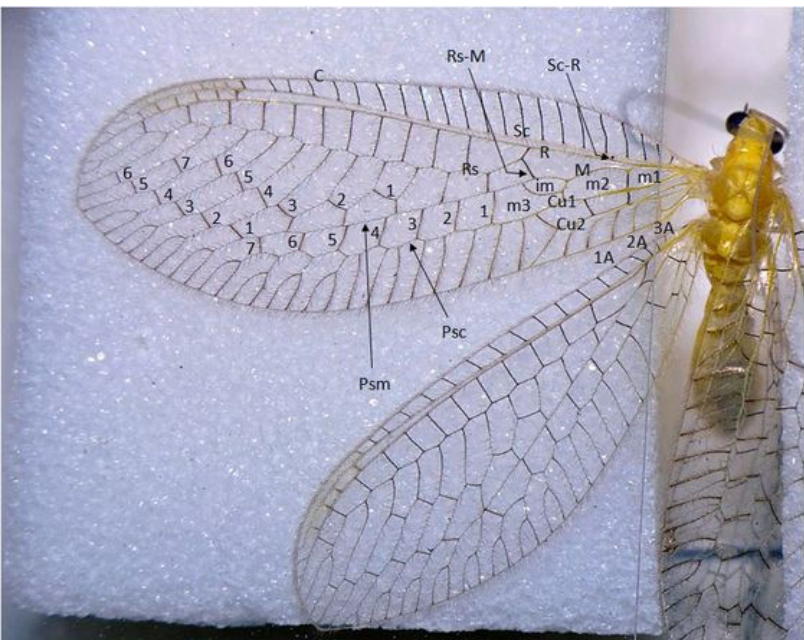
前翅に3室というのがあり、その上にRs-M脈という横脈があります。3室の先端と横脈がどちらが翅の先端に近いかとい



う項目ですが、この写真のように3室の先端の方が翅の先端に近いので⑩♀を選びます。従って、ニセコガタクサカゲロウ属になります。

■種の検索

次は種への検索表です。下の表を御覧ください。



ニセコガタクサカゲロウ属には発音性の構造を持つものがあるので、それを除外する項目が⑪です。従って、⑫に進みます。前額と頭盾の様子は上の写真を見てください。確かにあります。従って⑫♀を選びます。次は触角の間にスポットがあるかどうかです。写真を見ると確かにあるので、イトホシアカマダラクサカゲロウということになりました。後は各論の説明を読んで、性質



を調べていかないといけないのですが、今回はパスします。

ついでに撮った写真も載せておきます。

これは頭から胸にかけてを背側から写したものです。

これは頭部を横から撮ったものです。複眼の横に四角い黒い模様があるのですが、そこに白い輪が写っているのはリング照明が

ニセコガタクサカゲロウ属の種への検索

- ⑪a 前胸背板には 3 対の明るい茶色か黒色のスポットがある；腹部第 2 腹板の側縁には発音性のファイル状構造がある
セボシクサカゲロウ
- ⑪b 前胸背板にはそのような斑はない；腹部第 2 腹板にはファイル状構造はない
- ⑫a 前額と頭盾には模様がある
 - ⑬a 触角間にスポットがある
イツホシアカマダラクサカゲロウ
 - ⑬b 触角間にスポットはない
 - ⑭a 頬のスポットは黒褐色から黒；口肢は明瞭な模様がある；胸から腹部にかけて背中央の縦筋はない
ヨツボシアカマダラクサカゲロウ
 - ⑭b 頬のスポットは赤から赤褐色；口肢は多かれ少なかれ不明瞭な模様がある；胸から腹にかけて背中央に明るい黄色の縦筋がある
ヒメニセコガタクサカゲロウ
- ⑫b 前額には模様がない；頭盾は通常模様がないが、稀にあることもある
 - ⑮a 触角柄節の外側の側面は茶色から黒褐色で色づく
 - ⑯a 口肢はほとんど色づかない
ミナミクサカゲロウ
 - ⑯b 口肢は強く色づく
クロヒゲフタモンクサカゲロウ
 - ⑮b 触角柄節は色づかない
 - ⑰a 口肢は色づかない；腹部背面中央には明瞭な黄色の縦筋がある
フタモンクサカゲロウ
 - ⑰b 口肢は黒褐色に色づく；腹部背面中央の縦筋はないか、あるいは不明瞭
ヒメニセコガタクサカゲロウ

写ってしまったためです。無視してください。なお、一番上の2枚の写真と比べて、下の写真はいずれも黄色くなっているのは、酢酸エチルを含む入れ物に入れておいたためです。色素が化学変化したのかもしれない。

クサカゲロウもいろいろと調べてきたので、少しずつ分かるようになってきた感じですが、特に、検索表にはだいぶ慣れてきました。検索表にある発音性のファイル状構造ってどんなものだろうとだんだん気になってきました。